



2025年2月26日

各位

会社名 株式会社バルカー

代表者名 代表取締役社長COO 瀧澤 利治
(コード：7995、東証プライム市場)

問合せ先 IR 室長 遠藤 浩志郎
(TEL. 03-5434-7372)

再発防止策の進捗状況に関するお知らせ

当社は、2024年11月27日付「再発防止策の策定に関するお知らせ」に記載のとおり、特別調査委員会による提言等を踏まえ再発防止策を策定・公表いたしました。再発防止策の現時点までの進捗状況につき、下記のとおりご報告いたします。

記

【再発防止策の進捗状況（概要）】

(1) 経営トップおよび経営層の再発防止へのコミットメント

調査報告書を受領した11月14日を「コンプライアンスの日」と定めると共に、再発防止策の策定および実行に際して、経営トップより、風土改善に取り組んでいく姿勢を継続的に社内に発信しております。今後も、経営トップおよび経営層が中心となり再発防止に取り組んでまいります。

(2) コンプライアンス意識の強化

2024年12月に社内取締役および全執行役員を対象として、今回の不正を踏まえたコンプライアンス研修を実施いたしました。また来期新任となる執行役員に対するコンプライアンス研修も現在進めております。その他、幹部社員や一般社員を対象としたコンプライアンス研修やコンプライアンス意識調査などの施策について、実効性を高めるための改善を加えた来期計画を現在策定中です。

(3) 人材の流動性の促進

「幹部人材のローテーションに関する規程」を2025年2月に新設いたしました。同規程に基づいて、定期的に幹部人材を流動化させることで、組織の透明性と柔軟性を高め、不正が起こりにくい環境を整えてまいります。

(4) 内部統制および内部管理体制の強化

適切な機関による牽制・統制機能を強化するために、2025年2月に試験研究費や交際費を含む経費関連の権限規程の見直しを実施いたしました。2025年3月から運用を開始し、組織内でのチェック機能が十分に働くよう組織運営を進めてまいります。

(5) 内部通報制度の運用強化および信頼性・安全性の向上

不正等に関与した者が自主的な通報や調査に協力した場合にその態様や諸般の事情に照らして懲戒処分を減免できるといった社内リニエンス制度を導入いたしました。2025年2月から同制度の運用を開始し、自主的な通報を促し不正等に係る情報を可及的速やかに発見・把握し早期に対処することで、内部通報制度の運用を強化してまいります。

また、内部通報制度につきましては、通報がなされた場合に社外役員が関与できる仕組みを現在構築中であり、早期に運用を開始する予定です。

(6) 協力会社との健全な取引関係の維持

健全な取引関係を維持するため、協力会社へのコンプライアンスに関するアンケート調査を定期的実施することといたしました。本年度実施分は概ね完了し、不正は確認されておりません。なお、アンケート調査は2025年3月末までに完了予定です。

また、不正の早期発見を目的に、協力会社向けの通報窓口を定期的に周知する仕組みを構築いたしました。

(7) 企業風土の刷新

上記取り組みを通じて、「悪いことを悪い」と言える心理的安全性のある風土を築き、社員一人ひとりが意見や考えを発信しやすい風通しの良い職場環境を整備することを通じて、ガバナンス体制の強化に継続して取り組んでまいります。

以上